

従事と時間—メトニミー的観点から

石垣 恵一 (九州大学大学院)

1. はじめに

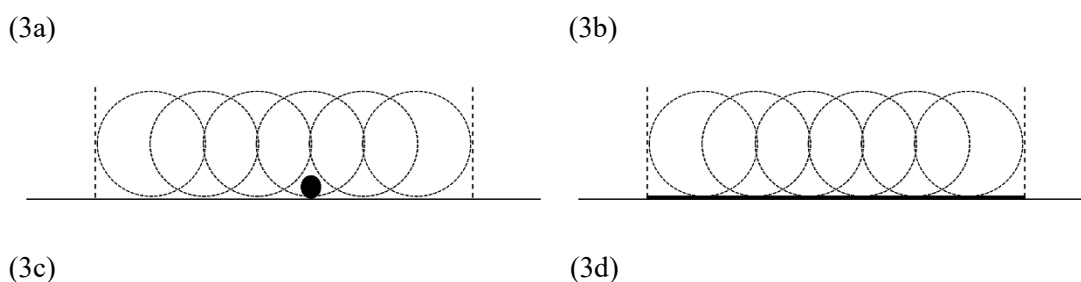
over に関する研究はこれまでに数多く成されてきたが、(1)のような従事用法「～しながら…」に関してはほとんど言及されていない。本発表ではまず、小西(1955、1976)、Radden and Dirven(2007)を援用し、over と他の前置詞の時間用法の違いをイメージスキーマを用いて表現し、従事用法の拡張メカニズムをメトニミー的拡張の観点から捉えることを目標とする。

- (1a) We talked over lunch. (Brugman 1981)
 (1b) We discussed it over a glass of wine. (Quirk et al. 1985)
 (1c) To cap it all, Luna told him over dinner that no copy of The Quibbler had ever sold out faster. (Rowling 2003: *Harry Potter and the Order of the Phoenix*)

2. 前置詞の時間用法

前置詞の時間的意義は空間的意義を持つ前置詞がメタファー的に拡張することにより生まれる(Radden and Dirven 2007)。ここでは前置詞の空間的意義と時間的意義の拡張関係に基づき、over の時間用法と他の前置詞の時間用法の違いをイメージスキーマで表現する。(2a-e)はそれぞれ(3a-e)に対応する。

- (2a) Victoria arrived at Waterloo Station at 7 pm. (Radden and Dirven 2007)
 (2b) David was waiting for her on platform 3 on Sunday. (ibid)
 (2c) The Olympic Games last for 17 days. (ibid)
 (2d) Don't fall asleep during the lecture. (ibid)
 (2e) We'll talk about marriage over the weekend. (ibid)





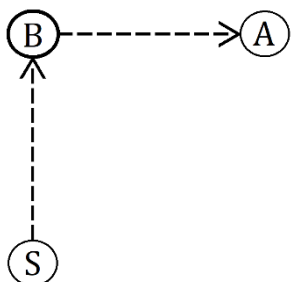
(3e)



3. 従事用法の拡張メカニズム

ここでは *over* の従事用法の拡張メカニズムを明らかにする。従事用法は時間用法からの拡張であり、そこにはメトニミー（換喩）が関係している。

- (4a) 黒板を消す。
- (4b) 村上春樹を読む。
- (4c) そろそろお茶にしよう。
- (4d)



典型的な従事用法を表す(5)では、*over lunch* は単純な時間的概念以上の意味内容（時間＋行為）を持っている。

- (5) We talked *over lunch*.

(4a-c)と(5)のスキーマは、抽象的な意味内容「(4d)の(B)」を言語化し、それにより具体的な意味内容「(4d)の(A)」を示しているという点である。これにより従事用法は時間用法からの拡張であることが分かり、そこにはメトニミーという認知能力が関与している。

4. おわりに

本発表では、まず *over* の時間用法と他の前置詞の時間用法の捉え方の違いをイメージスキーマを用いて考察した。そして *over* の従事用法は時間用法からのメトニミー的

な拡張事例であることを論じた。

5. 参考文献

Brugman, Claudia. 1981. *Story of Over*. M. A. thesis. Berkeley: University of California.
[Available from the Indiana University Linguistic Club.]

Quirk Randolph, Sidney Greenbaum, Geoffrey Leech, and Jan Svartvik. 1985. *A Comprehensive Grammar of the English Language*. London: Longman.

Radden, Günter and Dirven, René. 2007. *Cognitive English Grammar*. Amsterdam and Philadelphia: John Benjamins.

小西友七. 1955. 「前置詞 (下)」, 研究社.

小西友七. 1976. 「英語の前置詞」, 大修館.

谷口一美. 2006. 「認知言語学」, ひつじ書房.

6. 参考図書

J. K. Rowling. 2003. *Harry Potter and the Order of the Phoenix*. London: Bloomsbury Publishing.